

体育会学生の就職活動状況調査（2020年7月）

2020年7月

6月の選考解禁を目前とした4月・5月の体育会学生の就職活動状況、及び4月7日新型コロナウイルスの影響による緊急事態宣言後の学生の動向について、4月末時点の「アスプラ 2021」利用中の学生へアンケート調査を行いました。

【調査概要】

調査対象：『アスプラ 2021』に登録している体育会学生

回答件数：492 件

調査方法：インターネット、LINE 調査

調査期間：2020年4月29日～5月8日

【TOPICS】

▼内定率について

4月末時点で56.9%が内定を取得。昨年(55.1%)より1.8ポイント上昇。就職活動を終える時期は昨年と比べて減少傾向にあるが、「納得できる企業から内定が出たら終わる（6月以前）」が39.6%を占めた。

▼オンライン選考について

4月末時点でオンライン選考に参加した学生は全体の88.2%を占めており、実施する中での相互理解に課題を感じている学生が多数いると推察される。

▼インターンシップの参加状況

インターンシップに参加する学生は77.4%を占め、その内の78.9%が1Day、もしくは半日のインターンシップに参加している。

<本資料について>

本資料に掲載のデータ、図版等の無断転載を禁じます。
資料のご利用やご質問等に関しては、下記までご連絡ください。

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社アスリートプランニング 広報担当

Tel: 03-5937-8460（受付時間：9:00～18:00/土日祝日を除く）

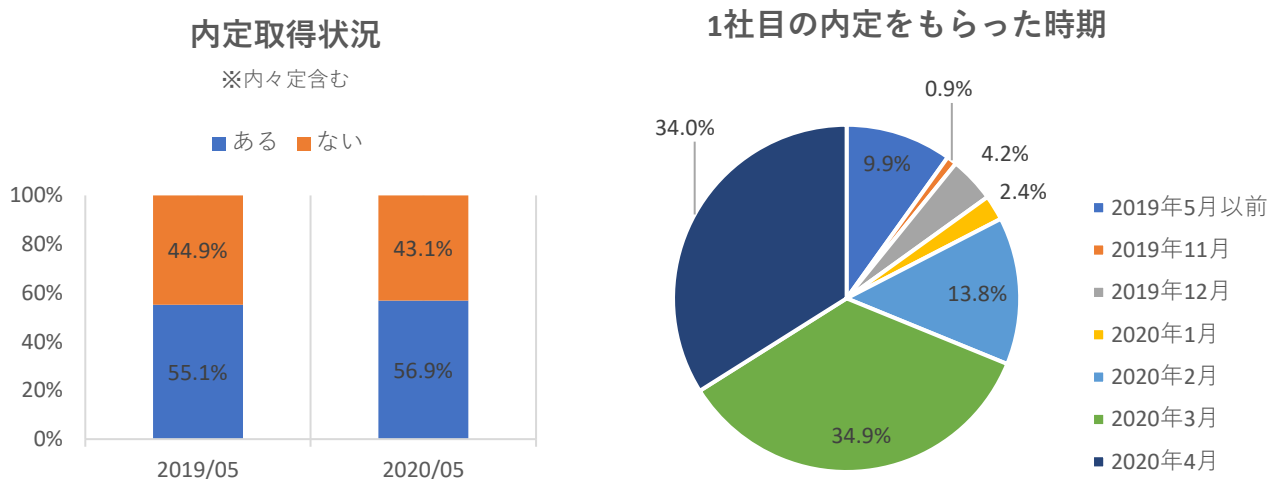
Mail: athlete2021@asupura.com

◆就職活動状況

○内定取得状況

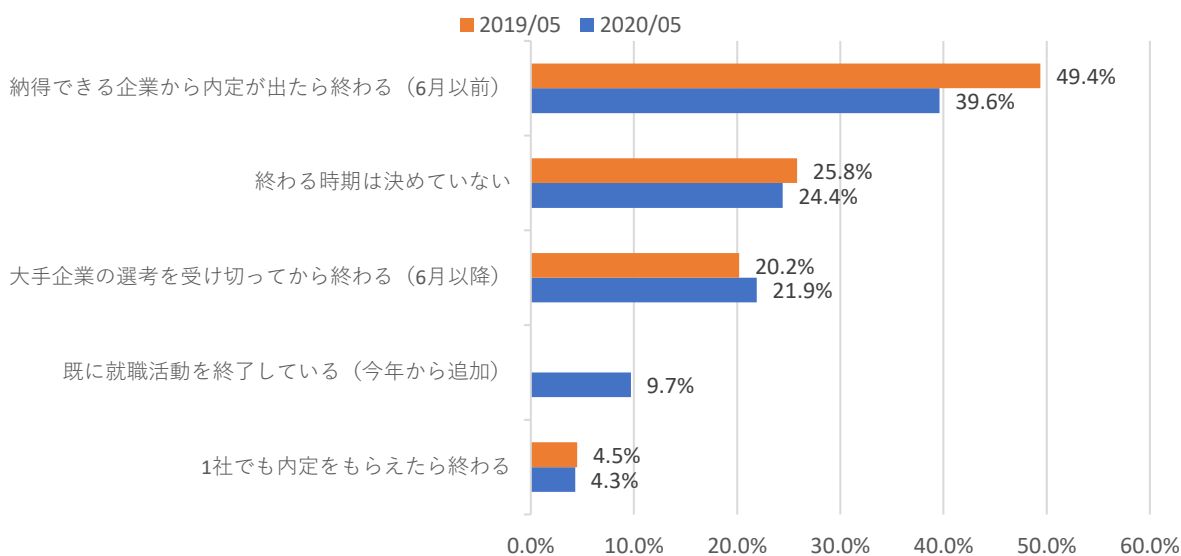
4月終了時点での体育会学生の内定率は56.9%、昨年の同月比で1.8ポイント増加。新型コロナウイルスによる緊急事態宣言の影響は受けつつも、早期に就職活動を始めていた学生たちは内定を取得していることが分かる。

また、1社目の内定をもらった時期については、2～4月に内定獲得をした学生が8割以上と3月1日の採用情報解禁の前にはほとんどの学生が選考を受け始めていたと推測される。



就職活動を終了しようとしている時期については昨年の傾向と大きな差はなく、「納得できる企業から内定が出たら終わる（6月以前）」が4割近くを占めた。

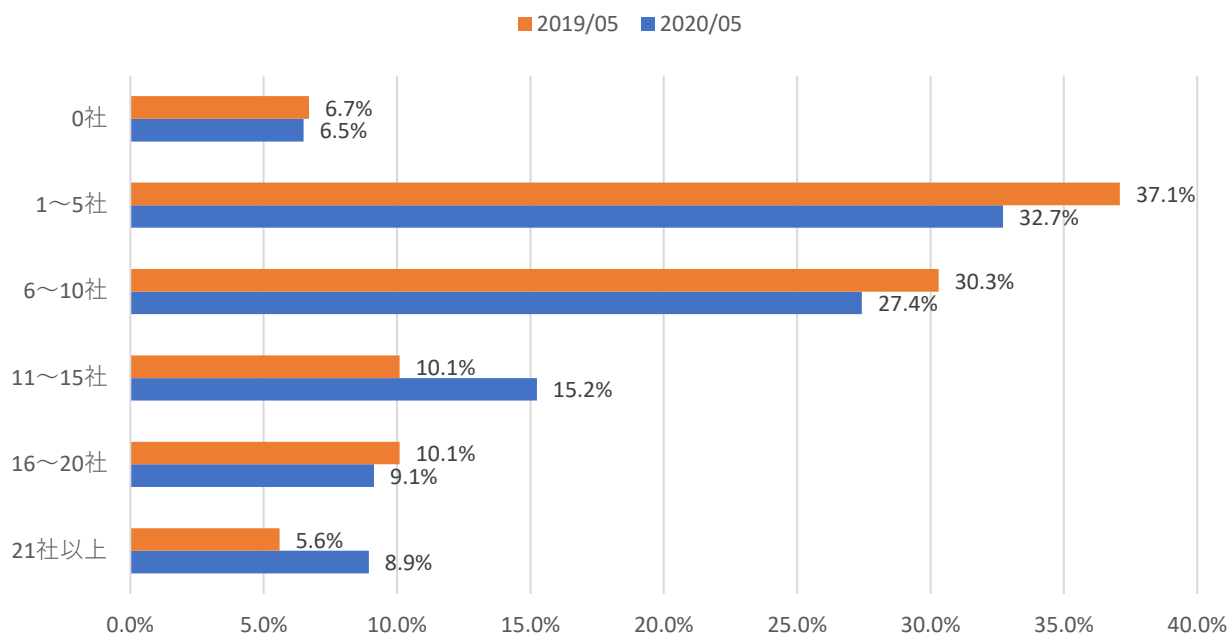
就職活動を終了しようと考えている時期



○本選考への参加状況

昨年、選考企業数が10社以下の学生が74.1%だったにもかかわらず今年は66.6%と、7.5ポイント減少。一方「11～15社」を選択した学生が5.1ポイント、「21社以上」を選択した学生が3.3ポイント増加しており、選考を受ける企業数は増加傾向にある。

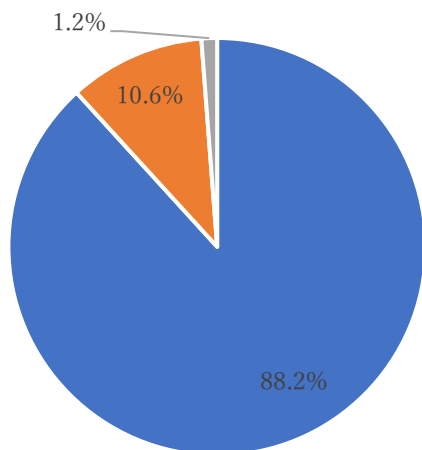
本選考参加状況＜参加社数＞



また、昨年との大きな違いは新型コロナウイルス感染を懸念する各企業が、説明会や選考をオンラインに切り替えたことだ。8割以上の学生がオンラインでの選考会に参加した経験があり、その参加社数は複数社となっている。

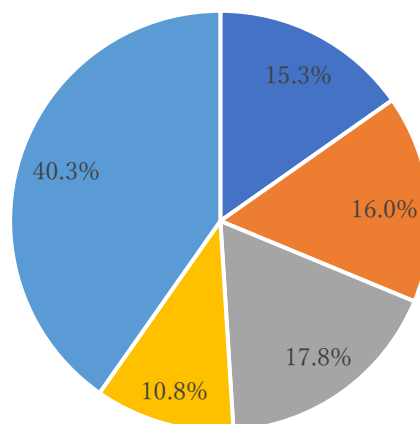
オンラインでの選考参加状況

- ある
- ない（希望している会社で実施していない）



オンラインでの選考参加社数

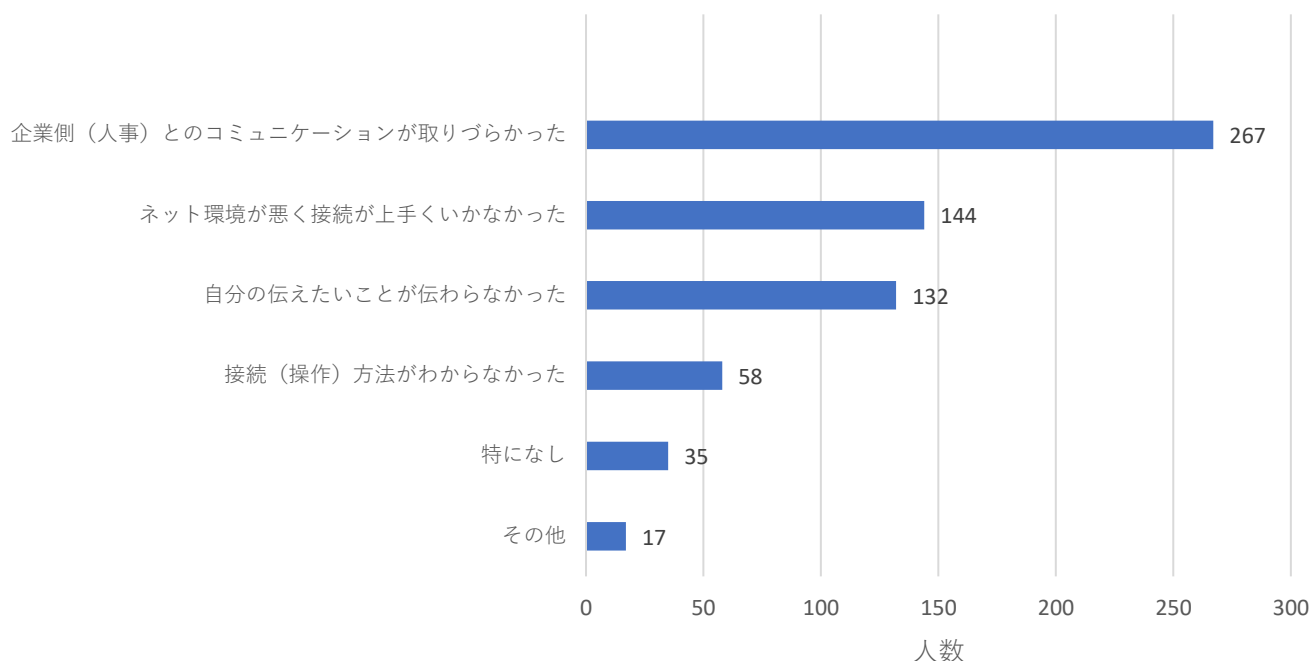
- 1社
- 2社
- 3社
- 4社
- 5社以上



オンラインでの選考に慣れている学生は少ないこともあり「企業側（人事）とのコミュニケーションが取りづらかった」という回答が半数以上を占めた。体育会学生ならではの回答として、「自身の体育会らしさを伝えきれなかった」という学生もいたことがあげられる。

オンライン選考で困ったこと

（※複数回答可）



◆志望する職種・業界

○志望する職種・業界

4月時点の志望業界は「不動産・建設」業界が最も多く9.5%となった。上位5業界については例年大きな変化はなかったが、今年初めて「IT」業界が6.5%でランクインしている。また、去年はランク外であった「TV・広告」業界が4.5%と7番目の人気業界となった。

新型コロナウイルスによって引き起こされた経済状況を見て、今後伸びていく業界に関しては順位が上がるのが予想される。

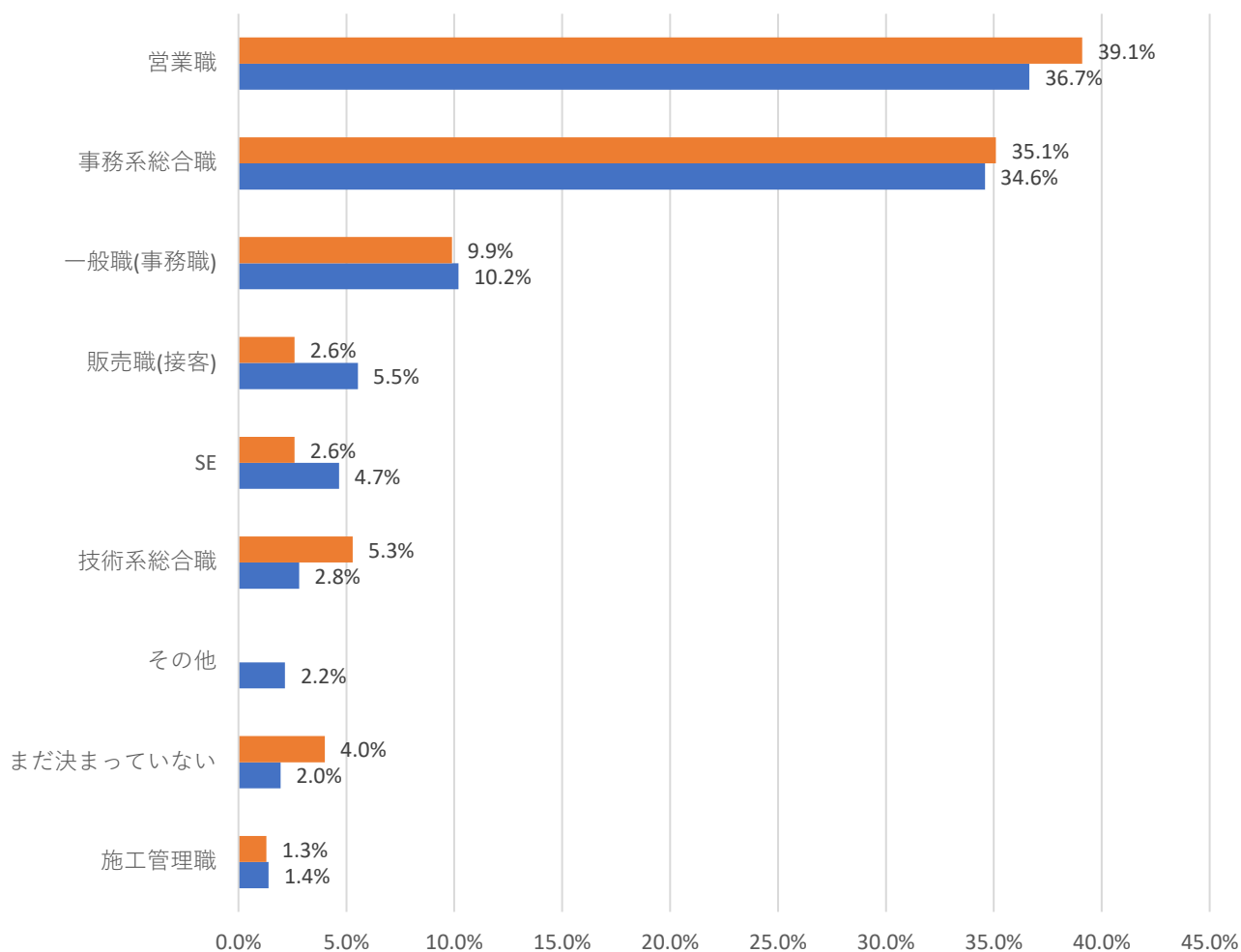
		2019年5月		2020年5月	
1	金融	9.7%	不動産・建設	9.5%	
2	総合商社	9.2%	金融	9.2%	
3	食品・飲料	7.0%	食品・飲料	8.2%	
4	不動産・建設	6.5%	総合商社	8.0%	
5	電機・機械	5.9%	IT	6.6%	
6	スポーツ	4.9%	スポーツ	6.0%	
7	IT	4.9%	TV・広告	4.6%	
8	鉄道・航空	4.9%	鉄道・航空	4.0%	
9	公務員	4.3%	公務員	3.2%	
10	インフラ	4.3%	その他	3.2%	
11	その他	3.8%	コンサル	3.0%	
12	自動車	3.2%	インフラ	2.9%	
13	化学	3.2%	物流・運輸	2.7%	
14	化粧品・日用品	3.2%	電機・機械	2.5%	
15	人材	2.7%	化粧品・日用品	2.4%	
16	通信	2.2%	化学	2.3%	
17	ホテル	2.2%	人材	2.1%	
18	製薬	2.2%	教育	2.0%	
19	物流・運輸	1.6%	自動車	1.9%	
20	コンサル	1.6%	新聞・出版	1.5%	

昨年同様、志望職種は「営業職」と回答した人が36.7%となり、次に多かったのが「事務系総合職」の34.6%と、この2職種で7割以上を占めた。昨年より増加傾向にあるのは、「SE」「販売職(接客)」の2職種と「その他」の中にはAD(アシスタントディレクター)、インストラクター、制作職などの回答が複数あった。

志望職種

※3つ目で選択可

■ 2019/05 ■ 2020/05



○企業選びの軸

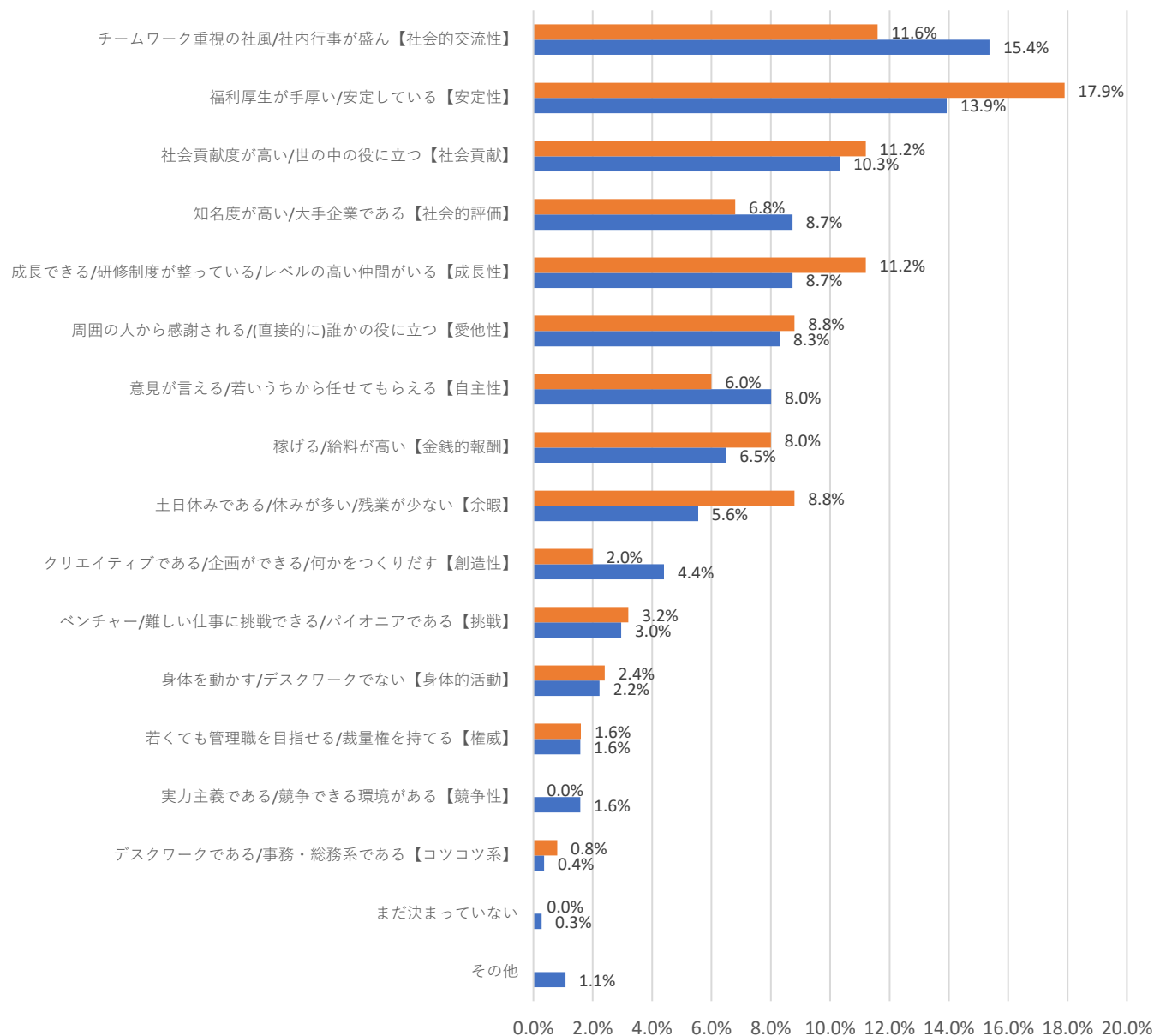
昨年2番目だった【社会的交流性】が最も多く15.4%が選択している。相反する形で【安定性】が13.9%と4ポイントダウン。昨今、安定志向の強かった学生が社内のチームワークや雰囲気重要視するようになってきている。

また、昨年から数字を伸ばしているのが【自主性】で2ポイント増加している。入社した後、自分の能力を発揮し活躍したいと思う学生が増えていることが予測されより社会に対して積極性が出てきていることが伺える。

企業選びの軸

※3つまで選択可

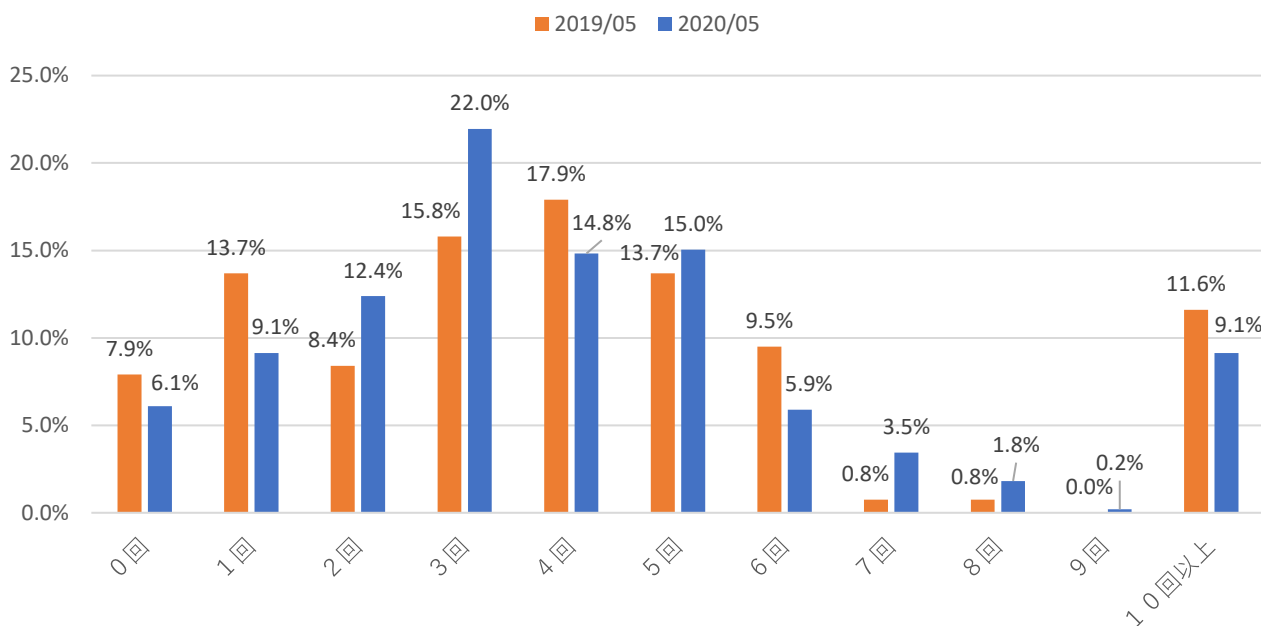
■ 2019/05 ■ 2020/05



○合同企業説明会・個社説明会の参加状況

合同企業説明会の参加は昨年同様、9割以上を占めている。参加した回数についても最も割合を占めているのが3回で、平均回数は4回と昨年と大きな変化はない。イベントのブース平均着席数が2～3社であることから10社前後の企業については合同企業説明会で接点を持った企業と推測される。体育会学生は部活動で就職活動の時間を割くことが困難なため、合同企業説明会は効率の良い就職活動の1つの手法とも言えるのではないか。

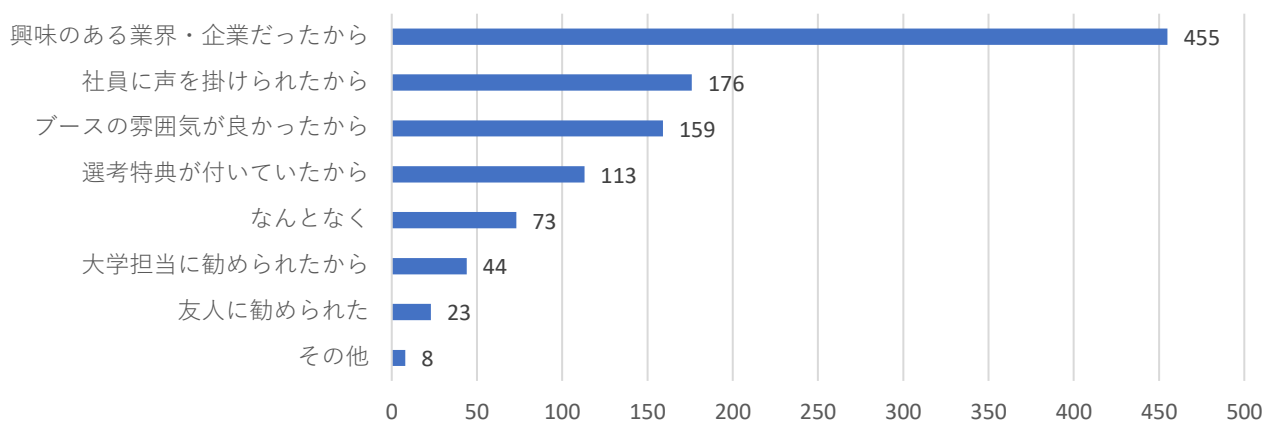
合同企業説明会へ参加した回数



また、合同企業説明会でブースに着席しようと思う企業の基準については「社員に声を掛けられたから」「ブースの雰囲気良かったから」という回答が2, 3番目に多くなっている。最初に訪れる企業は決めている可能性が高いが、その後会場に着いてから着席する企業を決める学生が多いのはこの数字から読み取れる。

合同企業説明会で着席しようと思う基準は何か

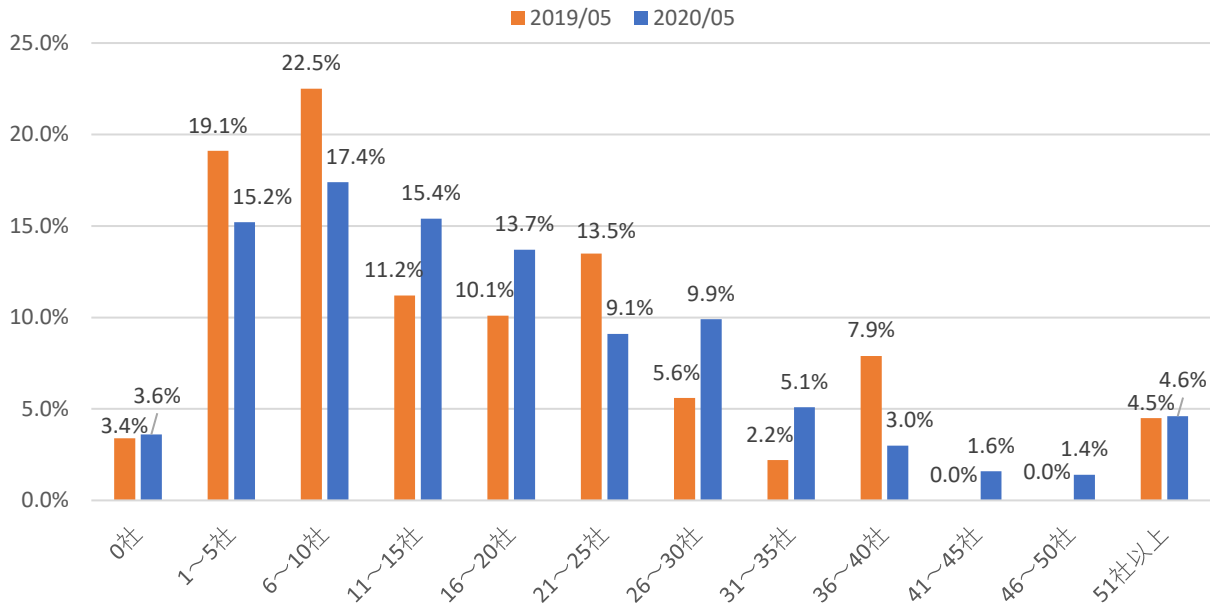
※3つまで選択可



○エントリー数・エントリーシートの提出数

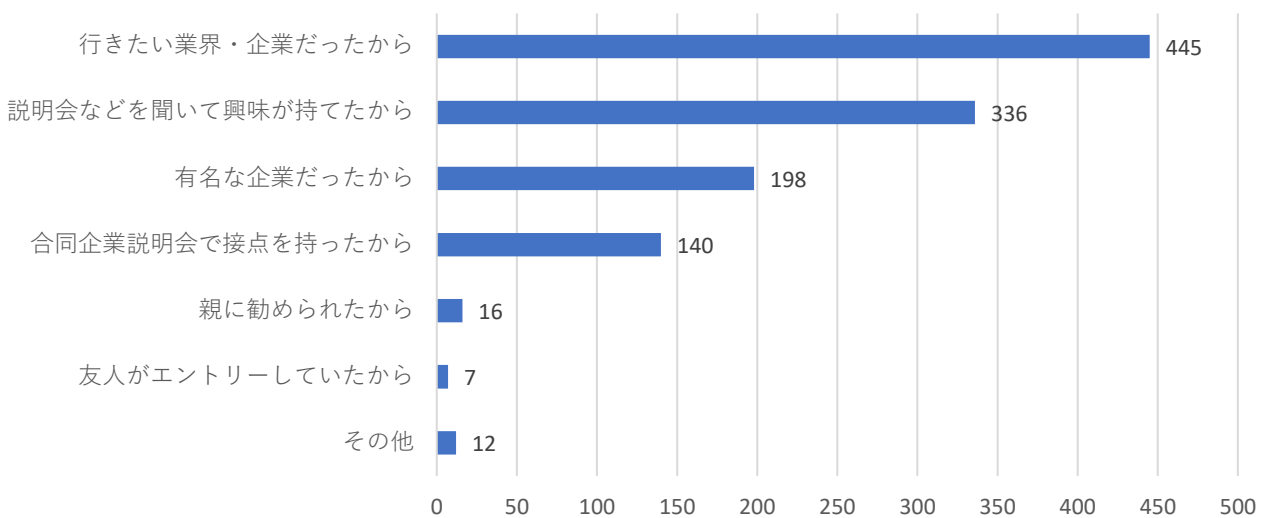
エントリー数については昨年に比べ増加傾向にある。最も多いのが昨年と同様「6～10社」で17.4%となっている。昨年と比較して10社以上のエントリーが増加しており、30社以上のエントリーは25.0%を占める。

エントリー数



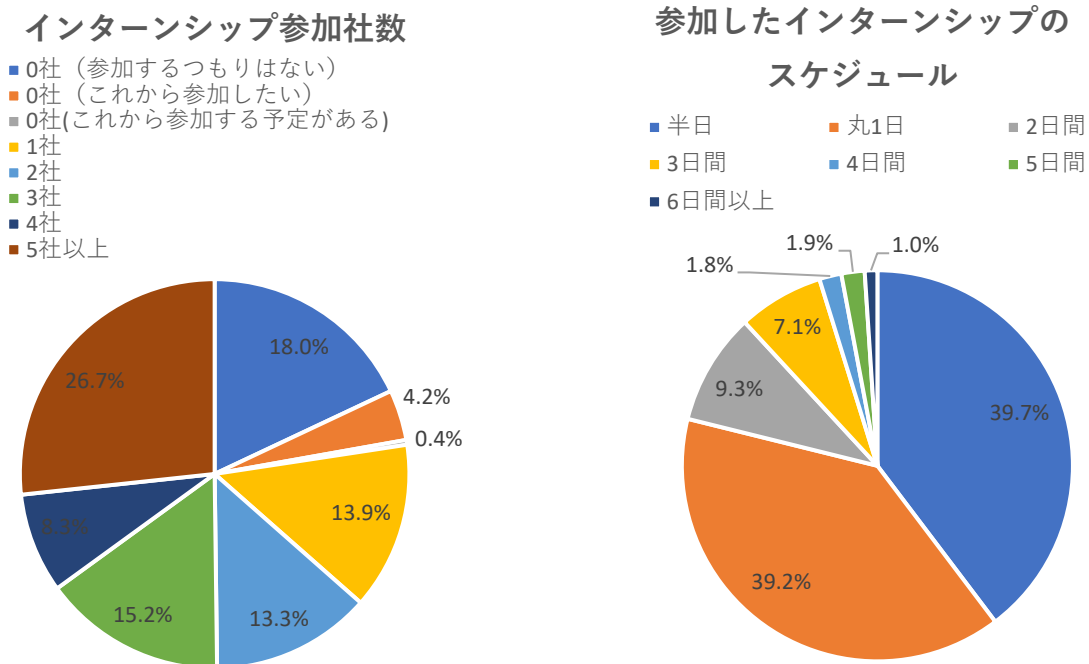
エントリー理由で2番目に多かった「説明会などを聞いて興味を持てたから」という回答結果から、元々志望していなかった業界や企業の話聞く機会を持てればエントリーする可能性が高いことがこの結果からわかる。

エントリーした理由



◆インターンシップの参加状況

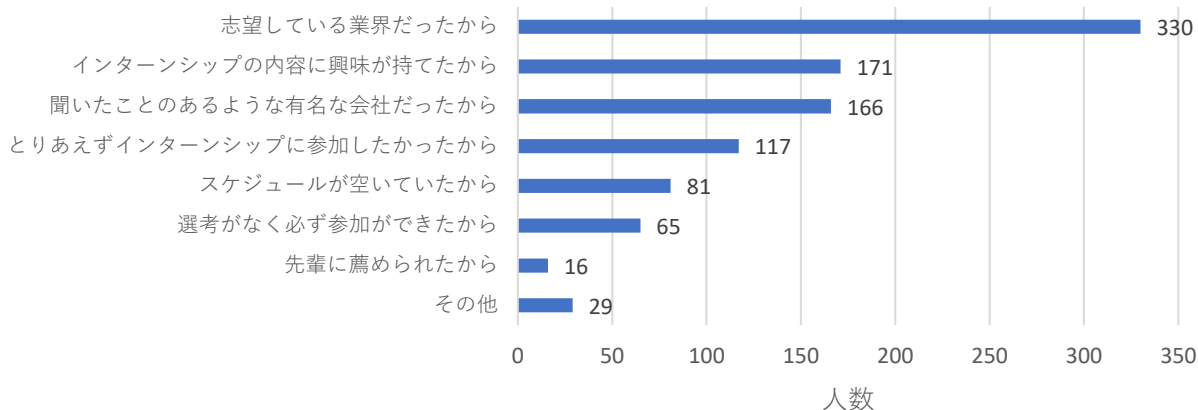
今回の調査時点でインターンシップへの参加経験がある学生は、約8割を占めている。また、参加したインターンシップのスケジュールを見ても「半日」「丸1日」を占める割合が約8割であることから、体育会学生においてもインターンシップに参加することは当たり前になりつつあるがスケジュールの都合上、1日で完結するインターンシップに参加する傾向にあると推測される。



インターンシップに参加する理由については、「インターンシップの内容に興味を持ったから」という回答が2番目に多い。どの企業のインターンシップに参加すれば良いかわからないという質問は毎年多いが、その際イベント等で接点を持つことや実施内容を考慮してインターンシップに参加する意味を各々学生自身も意識して参加している傾向がある。

インターンシップに参加する企業の基準は何か

※3つまで選択可



◆OBOG訪問の状況

OBOG訪問をした学生は4月末時点で42.9%と、昨年調査時が38.1%に比べると4.8ポイント増加傾向にある。本選考が進み改めて社会人としてのイメージを掴むため、また志望業界の情報収集のために、先輩後輩のつながりの強さを活かしたOBOG訪問。なお訪問したと回答した学生に関しては「5名以上」が最も多く15.7%という結果になった。

また、「これから訪問したい」という回答が昨年に比べ9.4ポイント増加傾向にある。年々、OBOG訪問をしたいがその機会がない学生も増えているのかもしれない。

OBOG訪問の状況（人数）

